

講義、実習の概要

講座名	リスクコミュニケーション講座
題目	リスクコミュニケーションの手法 ■講義 □実習
所要時間	1.5 時間
実施場所	原子炉特別研究棟 研修講義室 ■講義室 非管理区域 □第1種管理区域 □第2種管理区域
本講義のねらい	原子力放射線に関する社会コミュニケーションのありかたを学ぶ本講座の基礎知識として、場の設定や対応ツールなどの手段、コミュニケーション実践に必要な態度や実践知識について学ぶ。
概要	科学技術の専門家や、産業・事業者側の代表として社会との接点に立つ機会に、いかにコミュニケーションを円滑に保てるかが当事者として問われることになる。そのため、実践の場で必要な経験やノウハウとして目的に合わせた場の設計、効果的な手法を紹介する。また、様々なステークホルダーの意見や考え方を受け止めて対応することの重要性を踏まえ、聴き方、進め方を中心に、コミュニケーションのコツなど、実際の場で使うための手法を実例あげながら解説する。
キーワード	聴く、話す、対話、非言語
使用する教材	講義資料 リスクコミュニケーションの手法 関する基礎的な知識を習得すること